

注目種の状況【アユ】

■アユ(アユの全長組成の経年変化)

- 堰地点の稚アユの全長組成は、経年的に一定の変化傾向は見られない。
- 一般的に稚アユの全長は、遡上の前期に大きく後期には小さくなる傾向が見られ、長良川においても同様な傾向が見られる。
- 揖斐川、長良川、木曾川の中流域で平成22～25年に採捕したアユの全長については、放流アユの混入の可能性もあり最大値に変動はあるが、三川とも全長の小さいアユが確認されており、全長の中央値は同等である。
- アユの全長組成に対する河口堰の影響は認められない。

注1) 平成16年度FU定期報告の評価に基づき、調査を終了したが、平成22年度FU委員会の意見を踏まえて調査を実施した。

注2) 各調査日で採捕された個体の平均値。

注3) 木曾三川上流のデータは、以下の地点で採捕した個体のデータを使用した。

- ・揖斐川: 万石
- ・長良川: 穂積大橋
- ・木曾川: 犬山頭首工下流

